

第2回上越市地域福祉計画策定委員会

次 第

〔 とき 平成30年8月9日（木）
15：00～16：30
ところ 市民プラザ多目的学習室 〕

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 地域福祉計画における基本理念及び基本目標について

(2) 意見交換

4 その他

5 閉会



上越市地域福祉計画における基本理念 及び基本目標について

平成30年8月9日

上越市健康福祉部福祉課

【目 次】

1. 基本理念について … P 1
2. 基本目標について … P 7
3. 今後の流れについて … P 13

1. 基本理念について

1 基本理念について

(1) 概要

- 上越市第6次総合計画の健康福祉分野においては、「誰もが生涯を通じてこころと体の健やかさを実感できる環境が整い、安心して自分らしく暮らせるまちづくり」を目標として掲げ、取組を進めてきた。
- しかしながら、人口減少や少子高齢化、家族のあり方の変化などに伴い、複雑で多様な生活課題を抱える方が増えてきており、悩みや問題を抱えたまま個人や家庭が社会から孤立してしまうことが懸念される。
- こうした社会からの孤立を防ぎ、誰もが自分の居場所を持てるよう社会全体で支えていくためには、地域住民等と連携しながら共に取り組んでいくことが益々重要になってくる。
- こうしたことを踏まえ、基本理念の作成に当たっては、上越市第6次総合計画の健康福祉分野における目標と整合を図り、さらに発展させつつ、地域住民の思いを反映させることとする。

【基本理念の検討イメージ】

行政（市）の視点

上越市第6次総合計画

【健康福祉分野に係る目標】

誰もが生涯を通じてこころと体の健やかさを保てる環境が整い、安心して自分らしく暮らせるまち

地域住民の視点

地域懇談会や市民の声アンケート

市民の「思い」の反映

基本理念（当市における地域福祉の将来像）

1 基本理念について

(2) 基本理念の検討

検討ステップ1

第6次総合計画の健康福祉分野における目標「誰もが生涯を通じてこころと体の健やかさを実感できる環境が整い、安心して自分らしく暮らせるまちづくり」の発展

健康福祉分野における目標	考え方	発展した状態
誰もが生涯を通じてこころと体の健やかさを実感できる環境が整い、	<ul style="list-style-type: none">・これまで地域包括支援センターの再配置等による相談体制の強化や個別訪問等による保健指導などを実施し、体とこころの健やかさを実感できる環境を整えてきた。・基本理念では、現状をさらに発展させ、一人一人がすこやかにいきいきと暮らしている状態を目指す。・さらに、今後社会全体で継続的に支え合っていくためには、自分自身のこころと体が健やかであること（＝一人一人がすこやかにいきいきと暮らしていること）を前提としつつ、このことをさらに発展させ、<u>自分のことだけでなく、他人のために果たす「出番」がある状態を目指す</u>べきである。	<ul style="list-style-type: none">・一人一人の出番がある状態
安心して自分らしく暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none">・人口減少や少子高齢化、家族のあり方の変化などに伴い、複雑で多様な生活課題を抱える方が増えてきていることを踏まえ、自分らしく暮らしつつ、さらに<u>社会から孤立する人がいない誰もが「居場所」のある地域を目指す</u>。・安心して暮らせるまちは、不変的な考えである。	<ul style="list-style-type: none">・誰もが居場所のある状態・安心して暮らせる地域社会の実現

1 基本理念について

(2) 基本理念の検討

検討ステップ2

地域懇談会や市民の声アンケートにおける市民の「思い」の反映

【地域懇談会について】

- ・平成30年6月26日から、7地区でそれぞれ2回実施。
- ・1回目は、「こんな地域にしたい」等の地域の思いを抽出し、2回目は、1回目の思いを受けて、具体的にどんな取組ができるかについて、議論する予定。
- ・1回目は、7月13日までに全地区で終了しており、基本理念に反映させるべき思いは、抽出が完了している。

区分	意見等	思い
地域懇談会 ※社会福祉協議会主催	<ul style="list-style-type: none">・地域懇談会において、「こんな地域にしたい（なったらいい）」というテーマでグループワークを行った。・事務局において意見を整理したところ、「支え合い・助け合い」に関する意見が29/122件（約23.8%）と最も多く、近所同士で助け合いができる地域が理想であることが分かった。・次に多かった意見は、「世代間交流」の23件/122件（約18.9%）であり、地域の中で、子どもから高齢者まで、コミュニケーションがしっかりとれている状態も重要視されていることが分かった。	<ul style="list-style-type: none">・困ったときに近所同士で助け合える・地域の中でコミュニケーションがしっかりとれている

1 基本理念について

(2) 基本理念の検討

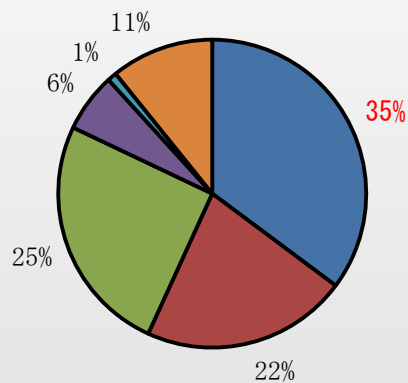
【市民の声アンケート(平成30年1月実施)について】

対象者:市内に在住する満18歳以上の男女5,000人

回答者:2,168人(有効回答率:43.36%)

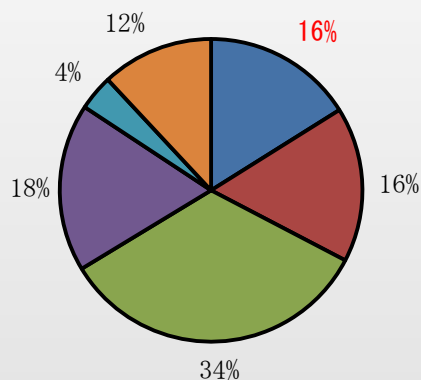
【市民の声アンケート結果(抜粋)】

①近所付き合いで、「理想」とする付き合いはどの程度ですか。



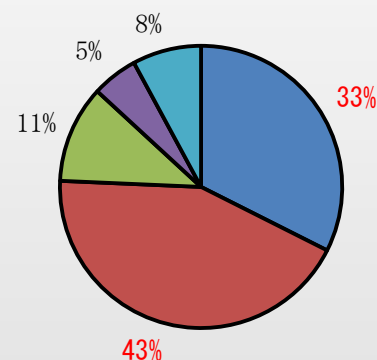
- 何か困ったときに助け合う親しい人がいる
- お互いに訪問し合う程度の人がある
- 立ち話をする程度の人がある
- あいさつをする程度の人しかいない
- ほとんど付き合いはない
- 無回答

②近所付き合いをどの程度していますか。



- 何か困ったときに助け合う親しい人がいる
- お互いに訪問し合う程度の人がある
- 立ち話をする程度の人がある
- あいさつをする程度の人しかいない
- ほとんど付き合いはない
- 無回答

③ご近所で困っている人がいる場合に、「頼まれたら」できることはありますか(声かけや安否確認)。



- かなりできる
- ときどきできる
- あまりできない
- できない
- 無回答

※上記円グラフの作成に当たっては、小数点以下の数値を四捨五入するなどの処理を行っています。

1 基本理念について

(2) 基本理念の検討

【市民の声アンケート(平成30年1月実施)について】

対象者:市内に在住する満18歳以上の男女5,000人

回答者:2,168人(有効回答率:43.36%)

区分	意見等	思い
市民の声アンケート	<ul style="list-style-type: none">・「近所付き合いで、「理想」とする付き合いはどの程度ですか。」という問いに対し、最も多かった回答が「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」の約35%であった。・一方、「近所付き合いをどの程度していますか。」という問いに対し、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」と回答した人は、約16%であり、現実と理想にはギャップがある。・また、「近所で困っている人がいる場合に、『頼まれたら』できることはありますか(声かけや安否確認)。」という問いに対し、「かなりできる」、「ときどきできる」と回答した人は、あわせて約76%であり、このことから住民同士の見守りの意識は高いと考えられるが、実際に自発的な助け合いまで期待できると考えられる関係(②の「近所付き合いをどの程度していますか。」という問いにおいて、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」、「お互いに訪問し合う程度の人がいる」と回答した人の割合を足した数値)を構築している人は、約32%にとどまっている。	<ul style="list-style-type: none">・困ったときに近所同士で助け合える

1 基本理念について

(3) 基本理念

- これらの検討結果を踏まえ、「誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに暮らせる地域社会の実現」を基本理念として設定する。

行政（市）の視点

上越市第6次総合計画

【健康福祉分野に係る目標】

誰もが生涯を通じて心と体の健やかさを保てる環境が整い、安心して自分らしく暮らせるまち

地域住民の視点

地域懇談会や市民の声アンケート

市民の「思い」の反映

基本理念（当市における地域福祉の将来像）

誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに暮らせる地域社会の実現

2. 基本目標について

2 基本目標について

(1) 概要

- 基本目標は、基本理念を実現するため、基本理念の構成要素を抽出・整理した上で、より具体化したものを設定する。

(2) 基本目標の検討

検討ステップ1

基本理念の構成要素の抽出・整理

基本理念

誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに暮らせる地域社会の実現

- ① 基本理念の実現のためには、皆で支え合う地域社会を実現していくことが必要であり、そのためには、まずは一人一人の居場所が確保されていることが必要
- ② 一人一人の居場所が確保されることに加え、地域に思いや関心を持つことによって、他人にも手を差し伸べる(共に支え合う)ことができる。
- ③ こうした支え合い体制の整った地域において、福祉サービスや施設をさらに充実させることで、自助、互助、共助、公助がそれぞれ確実に機能し、安心してすこやかに暮らせる地域社会の実現を目指す。

2 基本目標について

(2) 基本目標の検討

検討ステップ2

基本目標の設定

○ 検討ステップ1で抽出した3つの区分ごとに、基本目標を設定する。

① 一人一人の居場所が確保されている

⇒一人一人の思いを受け止め、社会からの孤立を防ぐための体制を強化します

② 一人一人が出番を持って、共に支え合う

⇒一人一人の出番を創出し、地域で支え合うまちづくりを推進します

③ 安心してすこやかに暮らせる地域社会の実現

⇒一人一人の生活を支える基盤づくりを推進します

2 基本目標について

【基本理念と基本目標の関係性イメージ】

基本理念

**誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに
暮らせる地域社会の実現**

具体化

【基本目標1】
一人一人の思いを受け止め、社会からの孤立を防ぐための体制を強化します

具体化

【基本目標2】
一人一人の出番を創出し、地域で支え合うまちづくりを推進します

具体化

【基本目標3】
一人一人の生活を支える基盤づくりを推進します

2 基本目標について

(3) 基本目標

【基本目標1】一人一人の思いを受け止め、社会からの孤立を防ぐための体制を強化します

人口減少や少子高齢化、家族のあり方の変化などに伴い、複雑で多様な生活課題を抱える方が増えてきており、悩みや問題を抱えたまま個人や家庭が社会から孤立してしまうことが懸念されます。

誰もが身近な地域で、すこやかに生活できるよう、地域とのつながりを築くことができるようなイベントへの参加や健康づくりに向けた自発的な取組などを促すほか、自ら声をあげられない人や困りごとを抱えている人の悩みに気付き、支援につなげていくための体制づくりや取組を充実させ、社会から孤立することがなく安心して暮らせる地域を目指します。

2 基本目標について

(3) 基本目標

【基本目標2】一人一人の出番を創出し、地域で支え合うまちづくりを推進します

地域においては、見守り・安否確認や買い物等といった新たな日常生活の困りごと等が発生してきています。これらの困りごと等に気づき、解決につなげていくためには、日頃からご近所付き合いを行っている地域の皆さんとの連携が特に必要になってきます。

また、社会全体で支え合う取組を安定的に継続していくためには、住民一人一人が自らの地域に思いや関心を持ちながら、主体的に活動することが重要となってきます。例えば、元気な高齢者の皆さんから、支援が必要な人の居場所づくりの担い手として活動していただくなど、地域における一人一人の出番を創出し、日常生活を送る中で、住民同士が支え合う関係を築けるようなまちづくりを目指します。

2 基本目標について

(3) 基本目標

【基本目標3】一人一人の生活を支える基盤づくりを推進します

個人の状況に応じた効果的かつ温かみのある福祉サービスを展開していくことにより、住民一人一人が安心してすこやかに暮らしていくための基盤を整えていきます。

また、災害時等の緊急時においても、安心した生活が送れるよう、拠点整備や受入れ体制づくりを推進していきます。

3. 今後の流れについて

3 今後の流れについて

【基本理念】

誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに暮らせる地域社会の実現

【基本目標】

- ① 一人一人の思いを受け止め、社会からの孤立を防ぐための体制を強化します
- ② 一人一人の出番を創出し、地域で支え合うまちづくりを推進します
- ③ 一人一人の生活を支える基盤づくりを推進します

本日いただいた意見や庁内の意見を踏まえ、必要に応じて修正

**基本理念及び基本目標の確定について
文書で各委員に報告（9月上旬頃）**

計画素案（基本施策、取組の方向性等）

第3回策定委員会で議論（10月頃）